

授業科目(ナンバリング)		球技 C (CC214)		担当教員	中山 忠彦		
展開方法		実技	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
サッカーの基礎技術の習得および基本戦術の理解を図りながら、毎回テーマに基づいた確認のゲームを繰り返すことで基礎技術を応用できるようにする。また、テーマに基づいたトレーニングを構築し実際に指導実践することで、サッカーの競技特性や構造について学ぶ。							②⑤⑦⑪
ホスピタリティを構成する能力		学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標				評価手段・方法	評価比率
専門力		・サッカーに求められるプレーを実演できるとともに、状況に応じたプレーを選択実行できる。 ・サッカーに求められる個人技術、個人戦術、グループ戦術の練習計画の立案と指導ができる。 ・サッカーの競技特性・ルールを記述できる。				実技能力 (実技テスト) 指導能力 (実技テスト) レポート	15% 20% 10%
情報収集、分析力		・サッカーの競技力向上のために必要な情報を収集し分析ができる。				指導能力 (実技テスト)	10%
コミュニケーション力		・仲間や相手、審判や指導者・指導者役・選手役に対して敬意を払い適切な対応ができる。 ・ポジティブな声掛けにより良好なコミュニケーションをとることができる。				受講態度	25%
協働・課題解決力		・グループやチーム内で役割やポジションを決め、責任をもってその役割を果たすことができる。 ・指導者役・選手役に必要な行動を実践できる。				受講態度	10%
多様性理解力		・計画した練習内容をレベルに応じて変更できる。				指導能力 (実技テスト)	10%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
本実技授業では、サッカーにおいて必要な基本的要素（個人技術・個人戦術・グループ戦術）を理解、習得し、楽しく競技するための能力を向上するとともに、実践を通じて実技能力のほか、指導能力も身につけていく。 授業評価は、以下のように行う。①実技テストにて、実技能力、指導能力、情報収集・分析力を評価する（評価比率55%）。フィードバックは、テスト終了後、即時フィードバックを行い、改善点がある場合は、改善課題に取り組ませる。状況により再テストを実施する場合がある。②レポート課題は、サッカーの競技特性・ルールを理解できているかを評価する（評価比率10%）。レポートは、提出締め切り日の翌週に評価・添削したものを返却する。③受講態度（評価比率35%）は、授業内におけるチームでの取り組みに対する主体性や貢献度、コミュニケーション能力を評価する。毎回の授業において、個別に助言や指示を出し、課題に対しての取り組み具合を評価する。フィードバックは適宜、個人やグループを対象に、授業終了前に全体に対して総評にて行う。							
授 業 の 概 要							
本授業では、サッカーにおいて必要な基本的要素（個人技術・個人戦術・グループ戦術）を理解、習得し、楽しく競技するための能力の向上を目指します。また、競技特性および規則を理解するとともに、指導の際にデモンストレーションし、分かりやすく具体性をもって指導できる能力を身につけるようにします。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：特に指定しない 参考書：『小学校体育 全学年対応 新・サッカー指導の教科書』公益財団法人日本サッカー協会，東洋館出版社，2022 指定図書：『中学校体育 サッカー指導の教科書』公益財団法人日本サッカー協会，東洋館出版社，2022							
授業外における学修及び学生に期待すること							
・運動のできる服装、屋外用（スパイク不可）と屋内用（雨天時用）の運動シューズを事前に準備してください。 ・安全のため、時計、アクセサリ等は外して受講して下さい。 ・欠席、遅刻、早退のないように、体調の管理をしてください。怪我や体調不良の場合は事前に連絡してください。 ・練習に必要な用具の準備を積極的に行ってください。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予習・復習
1	オリエンテーション サッカーの競技特性	授業概要説明。授業の目標と進め方、成績評価の方法と履修上の諸注意。サッカーの競技特性について学ぶ。	・シラバスの事前チェック ・競技特性およびルールの要点をまとめる。
2	サッカーに求められるコーディネーション能力	ボールを自由に扱うための身体のコントロールについて学ぶ	・サッカーに求められる運動能力について調べる。 ・競技特性と運動能力の関係についてまとめる。
3	ボールフィーリング	ボールを自由に扱うためのボールフィーリングの技術を獲得する。	・個人技術（ボールフィーリング）を調べる。 ・ボールコントロール技術の構成要素についてまとめる。
4	ドリブル、パスの技術	ボールを運ぶ、止める、蹴る個人技術を獲得する。	・個人技術（ボールコントロール）について調べる。 ・ドリブル、パスの技術の構成要素についてまとめる。
5	1対1の突破と守備	ボールをキープあるいは駆け引きしながら相手をかわす技術とボールを個で奪う技術を獲得する。	・1対1の攻撃と守備の方法について調べる。 事後：1対1の突破と守備の構成要素についてまとめる。
6	グループ戦術（攻撃）	複数で相手と駆け引きしながら突破するグループ戦術について学ぶ。	・グループ戦術（攻撃）の方法について調べる。 ・グループで攻めるための構成要素をまとめる。
7	グループ戦術（守備）	複数で相手からボールを奪う守備戦術について学ぶ。	・グループ戦術（守備）の方法について調べる。 ・グループでボールを奪うための構成要素をまとめる。
8	数的優位を作って攻撃・守備	優位性（人の関わり）を持つての攻防について学ぶ。	・数的優位を作って攻撃、守備する方法について調べる。 ・数的優位な状況を作り出すための構成要素をまとめる。
9	ボゼッショントレーニング	グループでボール保持しボールキープ率を高めるための戦術について学ぶ。	・ボゼッションの目的について調べる。 ・効果的なボゼッションの構成要素をまとめる。
10	シュートトレーニング	正確なシュートを打つための技術を獲得する。また、クロスボールからヘディングによるシュートの技術も獲得する。	・シュートの技術について調べる。 ・ゴールを決めるための構成要素をまとめる。
11	スモールサイドゲーム （攻撃の意識）	スモールサイドゲームを通じて攻撃の戦術を学ぶ。	・グループ戦術（攻撃）について調べる。 ・効率よくグループで攻めるための構成要素をまとめる。
12	スモールサイドゲーム （守備の意識）	スモールサイドゲームを通じて守備の戦術を学ぶ。	・グループ戦術（守備）について調べる。 ・効率的にボールを奪うための構成要素をまとめる。
13	ゲーム形式（幅を使った展開）	ピッチの幅を活かした攻撃の重要性を学ぶ。	・ゲーム戦術とそれに応じたフォーメーションを調べておく。 ・ゲームで現れた課題と改善案をまとめる。
14	ゲーム形式（縦への意識とサポート）	ゴールへ向かう縦の攻撃の意識の重要性を学ぶ。	・ゲーム戦術とそれに応じたフォーメーションを調べておく。 ・ゲームで現れた課題と改善案をまとめる。
15	テーマに基づいた指導の実践	サッカーの競技特性を考慮し、テーマに応じた練習を設定し指導実践する。	・目的に応じたサッカー指導のための指導案を作成する。 ・指導した内容の改善案を作成する。